

大会案内

令和5(2023)年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会

第62回 大学美術教育学会 香川大会

令和5(2023)年9月23日(土)・24日(日)

令和5(2023)年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会ならびに第62回 大学美術教育学会 香川大会を対面で開催いたします。

対面開催（香川大学教育学部 幸町キャンパス）

令和5年9月23日(土)・24日(日)

香川大会専用ページ <https://www.kagawa2023.com/>

■会場

香川大学 幸町キャンパス 〒760-8522 香川県高松市幸町 1-1
教育学部（北4号館、北3号館）

■参加費

会員・一般 事前申込：4,000円 当日申込：5,000円
院生・学生 事前申込：2,000円 当日申込：3,000円 ※現職教員含む

■申込方法

香川大会の参加及び発表申込については、オンライン大会受付システムを使って行います。
（発表申込は2023年8月21日、事前の参加申込は8月31日で締め切りました。）
参加申込みは当日でも可能です。

■問い合わせ先

■大会運営委員会

第62回 大学美術教育学会香川大会運営事務局
〒760-8522 香川県高松市幸町 1-1 香川大学 教育学部
香川大会運営委員（窓口） 吉川 暢子 E-mail: yoshikawa.nobuko@kagawa-u.ac.jp
Tel: 087-832-1483

■大会システムサポートデスク

第62回大学美術教育学会香川大会システムサポートデスク
〒602-8048 京都市上京区下立売小川東入 中西印刷株式会社 学協会部内
E-mail: uaesj62@nacos.com Tel: 075-415-3661（平日の10:00～16:00）
参加・発表の申込みに関するお問い合わせについては
システムサポートデスクまでご連絡ください。

◇日程・内容

■大会前日の諸会議：9月22日（金）

時 間	内 容	出席者	方法・場所
13:00～14:00	総務局会議（場所：香川大学教育学部）	総務局	対面（413教室）
13:30～15:20	各種委員会 ・全造連大学委員会 ・全国学校美術教育支援委員会 ・学会誌委員会 ・全美協役員会	各種委員会 委員等	・全造連大学委員会（421教室） ・全国学校美術教育支援委員会（422教室） ・学会誌委員会（422教室） ・全美協役員会（423教室）
15:10～15:30	理事会・役員会受付 （15:30からの会議現地参加者用）		
15:30～16:30	学会理事会		対面（413教室）・Zoom併用
16:30～17:10	美術部門役員会		対面（413教室）・Zoom併用

■第1日目：9月23日（土）

時 間	内 容	場 所
9:00～9:30	受付	北3号館311教室
9:30～10:00	令和5年度 日本教育大学協会全国美術部門 開会式	北4号館415講義室
10:00～12:00	日本教育大学協会全国美術部門 協議会 テーマ：「美術教育と探究的な学習」	北4号館415講義室
12:00～13:00	昼休み	食堂 営業11:30～13:30
13:00～14:40	口頭発表Ⅰ	北4号館 （411, 412, 413, 421, 422）
14:50～15:50	情報交換会	北4号館415講義室前ピロティ
16:00～17:30	シンポジウム テーマ：「アフアンタジア： 美術教育における認知の多様性と創造性」	北4号館415講義室

■第2日目：9月24日（日）

時 間	内 容	場 所
9:00～9:30	受付	北3号館311教室
9:30～11:45	口頭発表Ⅱ	北4号館 （411, 412, 413, 421, 422）
11:45～12:50	昼休み	食堂 営業11:30～13:30
12:50～13:50	ポスター発表	北3号館313講義室
13:50～14:55	口頭発表Ⅲ	北4号館 （411, 412, 413, 421, 422）
15:10～15:55	令和5年度 日本教育大学協会全国美術部門 第62回 大学美術教育学会 総会	北4号館411教室

「香川大会」会場 アクセス

【高松駅から香川大学教育学部幸町キャンパスへのアクセス】

【徒歩】

高松駅→香川大学 15～20分

【JR】

高德線「高松駅」→「昭和町駅」下車 徒歩5分(東へ250m)

【バス】

- JR 高松駅発(高松駅前①②番のりば) ことடன்バス 下笠居線・昭和町経由便
「高松駅」→「幸町」下車 徒歩2～3分(西へ150m)
- ことடன்バス 下笠居線・宮脇町経由便又は香西線・宮脇町経由便 「高松駅」→「宮脇町」下車
徒歩2～3分(北へ150m)
- ことடன்バス まちなかループバス 1 東廻り 2 西廻り
「高松駅」→「香川大学教育学部前」下車すぐ又は「香川大学法学部・経済学部前」下車すぐ

【タクシー】

JR 高松駅香川大学 約10分 約800円

【高松空港から香川大学教育学部幸町キャンパスへのアクセス】

【バス】

高松空港リムジンバス 高松空港→「中新町」又は「県庁通り・中央公園前」下車 徒歩10分～15分(西へ750m)

【高速道路から香川大学教育学部幸町キャンパスへのアクセス】

東方面よりお越しの場合…

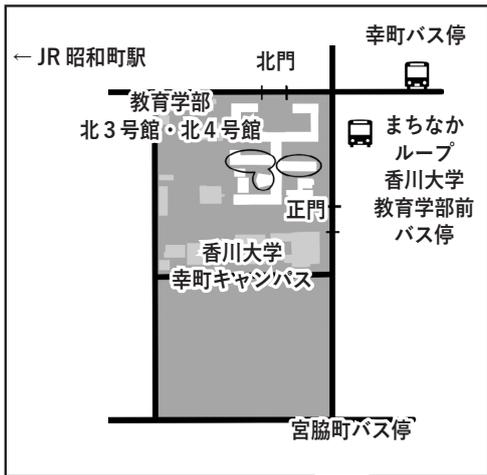
高松中央IC(高松道)から車で約20分。

西方面よりお越しの場合…

高松西IC(高松道)から車で約20分。



アクセスマップ・会場図

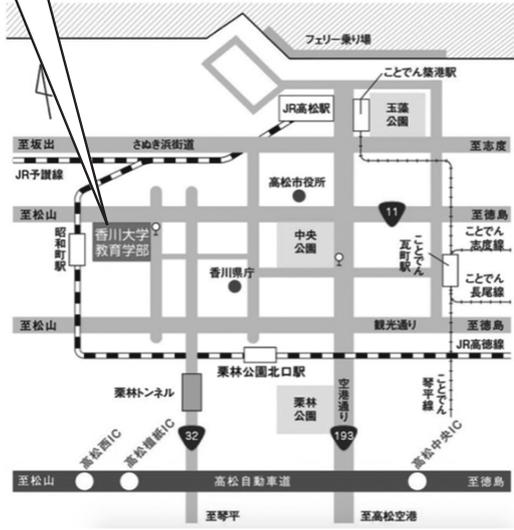


	JR JR 高徳線「高松駅」→「昭和町駅」下車 徒歩5分(東へ250m)
	ことでんバス 下笠居線・香西線 昭和町経由 幸町下車 徒歩5分(西へ150m) 宮脇町経由 宮脇町下車 徒歩5分(北へ150m)
	ことでんバス まちなかループ 香川大学教育学部前下車 すぐ
	タクシー JR 高松駅→香川大学 約10分 800円
	徒歩 JR 高松駅→香川大学 約15～20分
	レンタサイクル JR 高松駅→香川大学 約10分 24時間200円
	高松空港リムジンバス 高松空港→「中新町」「県庁通り・中央公園前」下車徒歩15分
	車 高速道路から 東方面から：高松中央IC(高松道)から車で20分 西方面から：高松西IC(高松道)から車で20分

JR：高松駅 昭和町駅

所要時間：約3分+徒歩5分

時刻	高松駅 →昭和町駅	昭和町駅 →高松駅
6	21 40	35
7	17 51	01 31 47
8	33	06 49
9	16	07 46 58
10	31	19
11	21	00 40
12	10 53	41
13	41	21
14	16	34
15	01 49	20
16	15 46	03 34
17	29	03 25
18	03 33 48	24
19	20 45	03 42
20	24	16 54
21	10	
22	04 50	00
23		06



まちなかループバス

まちなかループバス (東廻り)		
所要時間 高松駅→香川大学教育学部前：5分 香川大学教育学部前→高松駅：2分30秒		
高松駅→香川大学教育学部前→高松駅		
07:35	→	08:27 → 08:50
08:15	→	09:07 → 09:30
08:55	→	09:47 → 10:10
09:35	→	10:27 → 10:50
10:15	→	11:07 → 11:30
10:55	→	11:47 → 12:10
11:35	→	12:27 → 12:50
12:15	→	13:07 → 13:30
12:55	→	13:47 → 14:10
13:35	→	14:27 → 14:50
14:15	→	15:07 → 15:30
14:55	→	15:47 → 16:10
15:35	→	16:27 → 16:50
16:15	→	17:07 → 17:30
16:55	→	17:47 → 18:10
17:35	→	18:27 → 18:50

バス：高松駅前1・2番のりば

所要時間：約10分+徒歩3分

	下笠居線・ 昭和町経由	下笠居線宮脇町経由 ・香西線宮脇町経由
	高松駅→幸町	高松駅→宮脇町
6	50	
7	07	10 30 47 55
8		07 25
9	55	10
10		15 42
11	45	
12		33 57
13	45	57
14		38
15	40	05 18
16	40	13 57
17	43	21
18	42	15
19	58	15
20		
21		

バス：大学周辺→高松駅行き

所要時間：徒歩3分+約10分

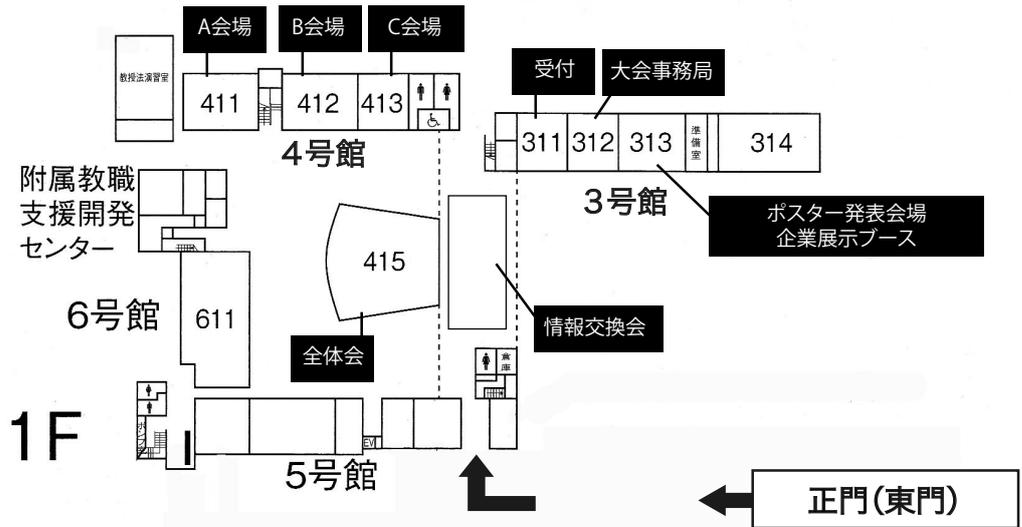
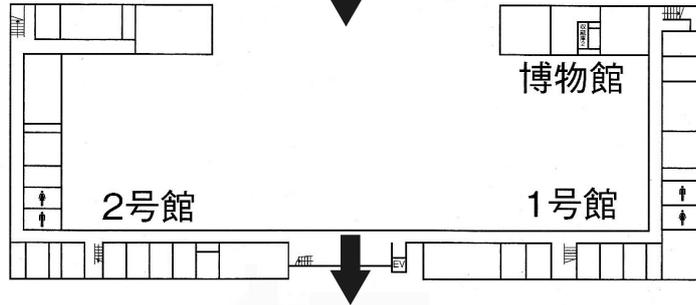
	幸町バス停 高松駅行き	宮脇町バス停 高松駅行き
	幸町→高松駅	宮脇町→高松駅
6		
7	24	49
8	12	29 35 54
9	31	11 51
10		14
11	15	04
12		05
13	05	49
14		00 49
15	05	55
16	55	09 25
17		39 56
18	16	26
19	12 59	41
20		
21		

まちなかループバス (西廻り)

所要時間 高松駅→香川大学教育学部前：5分 香川大学教育学部前→高松駅：2分30秒		
高松駅→香川大学教育学部前→高松駅		
08:05	→	08:24 → 09:20
08:45	→	09:04 → 10:00
09:25	→	09:44 → 10:40
10:05	→	10:24 → 11:20
10:45	→	11:04 → 12:00
11:25	→	11:44 → 12:40
12:05	→	12:24 → 13:20
12:45	→	13:04 → 14:00
13:25	→	13:44 → 14:40
14:05	→	14:24 → 15:20
14:45	→	15:04 → 16:00
15:25	→	15:44 → 16:40
16:05	→	16:24 → 17:20
16:45	→	17:04 → 18:00
17:25	→	17:44 → 18:40
18:05	→	18:24 → 19:20

教育学部 北門

香川大学には参加者の方が
利用する駐車場はありません。
近隣の駐車場をお使いください。



令和 5 (2023) 年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会

「Society 5.0 の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」では、「令和の日本型学校教育」で示された「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現やその他今日的な教育課題を解決する方策として「探究的な学習」が示されています。

各地区の附属学校園でも「探究的な学習」に関する先駆的取り組みがなされ、また美術教育に携わる研究者の中でも美術教育と関わる探究的な要素を研究されています。今回の全国美術部門協議会では、四国地区の先生方に美術教育に関わる「探究的な学習」の有り様を、関わり方の濃淡を問わず話題提供していただき、協議の場としたいと考えます。

テーマ

「美術教育と探究的な学習」

日 時：9月23日(土) 10:00~12:00

場 所：香川大学 教育学部 北4号館 415 講義室

発表者：

福井 一真（愛媛大学教育学部 准教授）美術科教育

武内 優紀（鳴門教育大学 准教授）彫刻

尹 智博（香川大学教育学部 准教授）デザイン

ゲスト発表者：

東良 雅人（京都市教育委員会 京都市総合教育センター 指導室長）

コーディネーター：

新井 浩（福島大学人間発達文化学類 教授）彫刻・[部門副代表]

令和5（2023）年度 第62回大学美術教育学会 香川大会 シンポジウム
「アファンタジア：美術教育における認知の多様性と創造性」

日時：9月23日（土）16：00～17：30

場所：北4号館415講義室

私たちはコロナ時代を通して、身体を通したコミュニケーションが媒介する知や創造する行為の価値を再評価しています。コロナ禍を経て我々美術教育研究者や美術表現の実践者は、オンラインによる授業といった教授方法の変化を通して、学生の認知理解方法の多様性があることも経験したところです。そうした多様性の1つとしてアファンタジアと2015年に定義づけされた、「生涯にわたり心的視覚イメージを持たない」というスペクトラム特性が意外と多いということもわかってきました。大学教育における美術表現や美術の教師教育をより良いものとするために、本シンポジウムでは最先端の認知科学とテクノロジーに焦点をあて、今一度私たちの美術教育の重要性を省察したいと考えています。また、AIの急速な進展は、美術教育にも新たな価値も生み出しています。特にAIによるイメージ生成はアファンタジアなど、多様な特性をもつ学生をサポート可能ではないかと考えており、その辺りも含め議論を深められればと思います。

登壇者は、福島大学の高橋純一氏、一般の方でアファンタジア特性をおもちの方を予定しています。

登壇者 _____

高橋 純一（福島大学人間発達文化学類）

長谷川 航己

（五十音順）

司 会 _____

山田 芳明（鳴門教育大学）

コーディネーター _____

佐原 理（徳島大学）

なお、本シンポジウムでは、オンラインホワイトボード（Miro）を使って会員の皆様のご意見を共有できる機会を設けます。詳細は、大会ホームページでお知らせします。

オンラインでの参加の場合はこちらのパスワード：k7TusJDA を使い、

こちらのURL：<https://00m.in/SZYG6> へご参加ください。



令和5(2023)年度 日本教育大学協会 全国美術部門 協議会

開会式／協議会／総会

日 時：令和(2023)年9月23日(土)・9月24日(日)

会 場：香川大学教育学部 幸町キャンパス(北4号館415講義室・411教室)

〈開会式〉9月23日(土) 9:30～10:00 北4号館415講義室

司会進行：吉川 暢子(香川大学)

1. 開会挨拶 代 表 新関 伸也(東海大学)
2. 開催大学代表挨拶 大会運営委員長 古草 敦史(香川大学)
3. 閉会挨拶 副代表 相田 隆司(東京学芸大学)

〈協議会〉9月23日(土) 10:00～12:00 北4号館415講義室

テーマ 「美術教育と探究的な学習」

発表者：福井 一真 (愛媛大学教育学部 准教授) 美術科教育
武内 優紀 (鳴門教育大学 准教授) 彫刻
尹 智博 (香川大学教育学部 准教授) デザイン

ゲスト発表者：

東良 雅人 (京都市教育委員会 京都市総合教育センター 指導室長)

コーディネーター：

新井 浩 (福島大学人間発達文化学類 教授) 彫刻

〈総 会〉9月24日(日) 15:10～15:55 北4号館411教室

司会進行：吉川 暢子(香川大学)

1. 挨拶 代 表 新関 伸也(東海大学)
2. 議長団選出 (議長候補：北陸・東海地区会 副議長候補：中国・九州地区会)
3. 議 事

【報告事項】

- | | | |
|--------------------|--------|----------------------------|
| (1) 令和5年度 役員・各種委員等 | 代 表 | 新関 伸也(東海大学) |
| (2) 令和4年度 事業 | 総務局長 | 村田 透 (滋賀大学) |
| (3) 令和4年度 決算 | 副総務局長 | 芳賀 正之(静岡大学) |
| (4) 令和4年度 監査 | 監 事 | 新野 貴則(山梨大学)
河西 栄二(岐阜大学) |
| (5) 令和6年度 協議会の開催大学 | 大会運営委員 | 江藤 望 (金沢大学) |
| (6) その他 | | |

【協議事項】

- | | | |
|-----------------------|-------|-------------|
| (1) 令和5-6年度 代表・副代表(案) | 代 表 | 新関 伸也(東海大学) |
| (2) 令和5年度 事業計画(案) | 総務局長 | 村田 透 (滋賀大学) |
| (3) 令和5年度 予算(案) | 副総務局長 | 芳賀 正之(静岡大学) |
| (4) その他 | | |

4. 議長団解任

5. 閉会の辞 副代表 新井 浩(福島大学)

令和5(2023)年度 日本教育大学協会全国美術部門 役員・各種委員会委員一覧

■代表	新関伸也* (東海大学)	[東海]	野村幸弘 (岐阜大学)
■副代表	新井 浩* (福島大学)		永江智尚 (愛知教育大学)
	相田隆司* (東京学芸大学)		
■顧問	八重樫良二* (北海道教育大学)	IV [近畿]	谷村さくら (大阪教育大学)
			竹内晋平 (奈良教育大学)
■総務局委員		[四国]	
総務局長	村田 透* (滋賀大学)	山田芳明 (鳴門教育大学)	
副総務局長	松尾大介* (上越教育大学)	尹 智博 (香川大学)	
	福井一真* (愛媛大学)		
	芳賀正之* (静岡大学)	V [中国]	
総務局員	永江智尚 (愛知教育大学)	吉田貴富 (山口大学)	
	藤井康子 (大分大学)	池田史志 (広島大学)	
	市川寛也 (群馬大学)		
	手塚千尋 (明治学院大学)	[九州]	
	平野真紀 (常磐会短期大学)	中川 泰 (長崎大学)	
総務局事務	高林未央	喜久山悟 (熊本大学)	
■大会運営委員	吉川暢子 (香川大学)		
	江藤 望 (金沢大学)	■学校美術教育支援委員会	
■監事	新野貴則 (山梨大学)	(兼大学造形教育連絡協議会)	
	河西栄二 (岐阜大学)	(兼全国造形教育連盟大学部会)	
■地区全国委員		委員長 西村德行 (東京学芸大学)	
I [北海道]		副委員長 笹原浩仁 (福岡教育大学)	
李 知恩 (北海道教育大学札幌校)		委員 青木善治 (滋賀大学)	
伊藤隆介 (北海道教育大学岩見沢校)		馬淵 哲 (滋賀大学)	
[東北]		■将来構想委員会	
渡邊晃一 (福島大学)		委員長 新関伸也 (東海大学)	
小林俊介 (山形大学)		副委員長 佐藤哲夫 (新潟大学)	
II [関東]		委員 新井 浩 (福島大学)	
本田悟郎 (宇都宮大学)		相田隆司 (東京学芸大学)	
林 耕史 (群馬大学)		松島さくら子 (宇都宮大学)	
III [北陸]		小池研二 (横浜国立大学)	
柳沼宏寿 (新潟大学)		柳沼宏寿 (新潟大学)	
小笠原文 (福井大学)		小林俊介 (山形大学)	
		新野貴則 (山梨大学)	
		村田 透 (滋賀大学)	

*印：運営委員

令和4(2022)年度 部門 事業報告

5月31日(火)	R4 論文集『日本教育大学協会研究年報』 査読候補者推薦
6月12日(日)	第1回運営委員会、第1回総務局会 (オンライン会議)
6月28日(火)	「部門会報 No.56」発行・郵送
6月28日(火)	「宮崎大会(オンライン開催)案内」郵送
7月1日(金)	「宮崎大会(オンライン開催)」ホームページ開設、メール配信
8月26日(金) ~27日(土)	第74回全国造形教育研究大会 長野大会 (全国造形教育連盟大学部会)
9月11日(日)	第2回運営委員会、総務局会 (オンライン会議)
9月14日(水)	令和3年度会計監査 (新野監事・河西監事)
9月16日(金)	大会前日諸会議：第3回総務局会、第1回 全国美術部門役員会
9月17日(土) ~9月18日(日)	令和4年度日本教育大学協会全国美術部 門協議会(オンライン開催)：部門開会式、 部門協議会、部門閉会式、部門総会、大 会開催大学引継ぎ(次期開催大学-香川 大学)
12月5日(月)	「宮崎大会概要集・記録集」発行、郵送
(令和5年) 1月	日本教育大学協会全国研究部門連絡協議 会(東京学芸大学本部)(開催見送り)
3月1日(水)	第2回運営委員会、第4回総務局会 (オンライン会議)
3月14日(火)	第2回全国美術部門役員会(メール会議、 オンライン会議)
3月31日(金)	日本教育大学協会への事業報告 (R4.4-R5.3 事業分)
	*上記のほか、運営委員会(メール会議) 等を随時開催

令和5(2023)年度 部門 事業計画

6月2日(金)	R5 論文集『日本教育大学協会研究年報』 査読候補者推薦
6月11日(日)	第1回運営委員会、第1回総務局会 (オンライン会議)
6月23日(金)	「香川大会(対面開催)案内」郵送
6月30日(金)	「部門会報 No.57」発行・郵送
7月3日(月)	「香川大会(対面開催)」ホームページ開設、 メール配信
9月9日(土)	第2回運営委員会、総務局会 (オンライン会議)
9月中旬	令和4年度会計監査 (河西監事・新野監事)
9月22日(金)	大会前日諸会議：第3回総務局会、第1回 全国美術部門役員会
9月23日(土) ~9月24日(日)	令和4年度日本教育大学協会全国美術部 門協議会(対面開催)：部門開会式、部門 協議会、部門閉会式、部門総会、大会開 催大学引継ぎ(次期開催大学-金沢大学)
12月上旬	「香川大会概要集・記録集」発行、郵送
12月下旬	「日本教育大学協会全国美術部門 令和5年度名簿」発行
(令和6年) 1月	日本教育大学協会全国研究部門連絡協議 会(東京学芸大学本部)(開催予定)
2月23日(金)	第75回全国造形教育研究大会 東京臨時 大会
3月上旬	第2回運営委員会、第4回総務局会 (オンライン会議)
3月中旬	第2回全国美術部門役員会(メール会議、 オンライン会議)
3月31日(日)	日本教育大学協会への事業報告 (R5.4-R6.3 事業分)
	*上記のほか、運営委員会(メール会議) 等を随時開催

令和5(2023)年度 第62回大学美術教育学会 全国大会

開会式／総会

日時：令和5(2023)年9月23日(土)・9月24日(日)

会場：香川大学教育学部 幸町キャンパス(北4号館415講義室・411教室)

〈開会式〉 9月23日(土) 9:30~10:00 北4号館415講義室

司会進行：吉川暢子(香川大学)

1. 開会挨拶 理事長 新関 伸也(東海大学)
2. 開催大学代表挨拶 大会運営委員長 古草 敦史(香川大学)
3. 閉会挨拶 副理事長 小池 研二(横浜国立大学)

〈総会〉 9月24日(日) 15:10~15:55 北4号館411教室

司会進行：吉川暢子(香川大学)

1. 挨拶 理事長 新関 伸也(東海大学)
2. 議長団選出 (議長候補：北陸・東海地区会 副議長候補：中国・九州地区会)
3. 議事
【報告事項】
 - (1) 令和5年度役員・各種委員等 理事長 新関 伸也(東海大学)
 - (2) 令和4年度事業 総務局長 村田 透(滋賀大学)
 - (3) 令和4年度決算 副総務局長 芳賀 正之(静岡大学)
 - (4) 令和4年度監査 監事 新野 貴則(山梨大学)
河西 栄二(岐阜大学)
 - (5) 学会誌委員会 委員長 小池 研二(横浜国立大学)
 - (6) 令和5年度協議会の開催大学 大会運営委員 江藤 望(金沢大学)
 - (7) その他
【協議事項】
 - (1) 令和5-6年度理事長・副理事長(案) 理事長 新関 伸也(東海大学)
 - (2) 令和5年度事業計画(案) 総務局長 村田 透(滋賀大学)
 - (3) 令和5年度予算(案) 副総務局長 芳賀 正之(静岡大学)
 - (4) その他
4. 議長団解任
5. 閉会の辞 副理事長 松島 さくら子(宇都宮大学)

令和5(2023)年度 大学美術教育学会 役員・各種委員会委員一覧

■理事長	新関伸也* (東海大学)	(四 国)
		山田芳明 (鳴門教育大学)
■副理事長	松島さくら子* (宇都宮大学)	尹 智博 (香川大学)
	小池研二* (横浜国立大学)	
■顧問	八重樫良二* (北海道教育大学)	V (中 国)
		吉田貴富 (山口大学)
		池田史志 (広島大学)
■総務局委員		(九 州)
総務局長	村田 透* (滋賀大学)	中川 泰 (長崎大学)
副総務局長	松尾大介* (上越教育大学)	喜久山悟 (熊本大学)
	福井一真* (愛媛大学)	
	芳賀正之* (静岡大学)	
総務局員	永江智尚 (愛知教育大学)	■私立大学全国理事
	藤井康子 (大分大学)	大成哲雄 (聖徳大学)
	市川寛也 (群馬大学)	香月欣浩 (四條畷学園短期大学)
	手塚千尋 (明治学院大学)	
	平野真紀 (常磐会短期大学)	■学会誌委員会
総務局事務	高林未央	委員長 小池研二 (横浜国立大学)
■大会運営委員	吉川暢子 (香川大学)	副委員長 西村德行 (東京学芸大学)
	江藤 望 (金沢大学)	副委員長 蜂谷昌之 (広島大学)
■監 事	新野貴則 (山梨大学)	委員 [R4-5 年度委員 6名]
	河西栄二 (岐阜大学)	内田裕子 (埼玉大学)
		喜多村徹雄 (群馬大学)
		勅使河原君江 (神戸大学)
		新関伸也 (東海大学)
		藤井康子 (大分大学)
		古瀬政弘 (東京学芸大学)
■地区全国委員		委員 [R5-6 年度委員 7名]
I (北海道)		青木善治 (滋賀大学)
李 知恩 (北海道教育大学札幌校)		江藤 望 (金沢大学)
伊藤隆介 (北海道教育大学岩見沢校)		齋江貴志 (群馬大学)
		丁子かおる (和歌山大学)
(東 北)		本田吾郎 (宇都宮大学)
渡邊晃一 (福島大学)		幸 秀樹 (宮崎大学)
小林俊介 (山形大学)		小橋暁子 (千葉大学)
II (関 東)		■将来構想委員会
本田悟郎 (宇都宮大学)		委員長 新関伸也 (東海大学)
林 耕史 (群馬大学)		副委員長 佐藤哲夫 (新潟大学)
III (北 陸)		委員 新井 浩 (福島大学)
柳沼宏寿 (新潟大学)		相田隆司 (東京学芸大学)
小笠原文 (福井大学)		松島さくら子 (宇都宮大学)
		小池研二 (横浜国立大学)
(東 海)		柳沼宏寿 (新潟大学)
野村幸弘 (岐阜大学)		小林俊介 (山形大学)
永江智尚 (愛知教育大学)		新野貴則 (山梨大学)
IV (近 畿)		村田 透 (滋賀大学)
谷村さくら (大阪教育大学)		
竹内晋平 (奈良教育大学)		

*印：運営委員

令和4(2022)年度 学会 事業報告

6月12日(日)	第1回運営委員会、第1回総務局会 (オンライン会議)
6月20日(月)	学会誌「論文投稿案内」郵送
6月28日(火)	「学会会報 No.40」発行・郵送・HP掲載
6月28日(火)	「宮崎大会(オンライン開催)案内」郵送
7月1日(金)	「宮崎大会(オンライン開催)」ホームページ開設、メール配信
8月1日(月)	学会誌・事前投稿登録締切
8月31日(水)	大学美術教育学会「宮崎大会」研究発表 申込締切・発表概要原稿提出締切
9月5日(月)	「投稿論文」締切(消印有効)
9月11日(日)	第2回運営委員会、総務局会 (オンライン会議)
9月14日(水)	令和3年度会計監査 (新野監事・河西監事)
9月16日(金)	大会前日諸会議：第3回総務局会、第1回 大学美術教育学会理事会
9月17日(土) ～9月18日(日)	第61回大学美術教育学会「宮崎大会」(オ ンライン開催)：学会開催式(宮崎大学)、 研究発表、講演会、学会総会、学会閉会式、 大会開催大学引継ぎ(次期開催大学-香 川大学)
10月16日(日)	第12回造形芸術教育協議会(オンライ ン会議)
11月30日(水) まで	投稿論文の掲載可否の決定(投稿論文の 最終提出は可否決定後4週間以内)
12月5日(月)	「宮崎大会概要集・記録集」郵送
(令和5年) 1月31日(火)	投稿論文掲載者による掲載負担金納入 (厳守)
3月1日(水)	第3回運営委員会、第4回総務局会 (オンライン会議)
3月11日(土)	第13回造形芸術教育協議会 (オンライン会議)
3月14日(火)	第2回学会理事会(メール会議、 オンライン会議)
3月31日(金)	「学会誌・第55号」発行・郵送 *上記のほか、運営委員会(メール会議) 等を随時開催

令和5(2023)年度 学会 事業計画

6月11日(日)	第1回運営委員会、第1回総務局会 (オンライン会議)
6月23日(金)	学会誌「論文投稿案内」郵送 「香川大会(対面開催)案内」郵送
6月30日(金)	「学会会報 No.41」発行・郵送・HP掲載
7月3日(日)	「香川大会(対面開催)」ホームページ開設、 メール配信
8月21日(月)	大学美術教育学会「香川大会」研究発表 申込締切・発表概要原稿提出締切
9月5日(火)	「投稿論文」締切(消印有効)
9月9日(土)	第2回運営委員会、総務局会 (オンライン会議)
9月中旬	令和4年度会計監査 (河西監事・新野監事)
9月22日(金)	大会前日諸会議：第3回総務局会、第1回 大学美術教育学会理事会
9月23日(土) ～9月24日(日)	第62回大学美術教育学会「香川大会」(対 面開催)：学会開催式(香川大学)、研究 発表、講演会、学会総会、学会閉会式、 大会開催大学引継ぎ(次期開催大学-金 沢大学)
10月1日(日)	8団体協議連絡会
10月15日(日)	第14回造形芸術教育協議会(オンライ ン会議)
11月6日(月) まで	投稿論文の掲載可否の決定(投稿論文の 最終提出は可否決定後4週間以内)
12月上旬 (令和6年) 1月31日(水)	「香川大会概要集・記録集」郵送 投稿論文掲載者による掲載負担金納入 (厳守)
3月上旬	第3回運営委員会、第4回総務局会 (オンライン会議)
3月10日(日)	第15回造形芸術教育協議会 (オンライン会議)
3月中旬	第2回学会理事会(メール会議、 オンライン会議)
3月末	「学会誌・第56号」発行・郵送 *上記のほか、運営委員会(メール会議) 等を随時開催

研究発表

口頭発表一覧

[第1日 9月23日(土)]

○受付 9:00~9:30

○開会行事 9:30~10:00
北4号館415講義室

○協議会 10:00~12:00
北4号館415講義室

○口頭発表Ⅰ 13:00~14:40

	発表室 A (1F 411 講義室)	発表室 B (1F 412 講義室)	発表室 C (1F 413 講義室)	発表室 D (2F 421 講義室)	発表室 E (2F 422 講義室)
① 13:00 13:30	<p>沢野井信夫(1916-1990)の「あそび」を活かした美術教育の構想について —著作『版画のいろいろ-版画あそび』の分析を中心に</p> <p>宇田秀士(奈良教育大学)</p>	<p>教師の変容を促す研修の在り方に関する一考察 —立体作品審査会・作品鑑賞研修会の実践を通して—</p> <p>青木善治(滋賀大学)</p>	<p>描画材作りを通じた色と豊かに関わる教材の開発—開発した教材の実践報告—</p> <p>加藤隆之(福岡教育大学)</p>	<p>学際的な研究領域としての美術教育と障害学/批判的障害学(2) —Derdy論文のインパクト—</p> <p>池田史志(広島大学)</p>	<p>子どもの「学び」と教師の「遊び心」 —特別支援学級の子どもの造形活動から—</p> <p>寺元幸仁(宍粟市立城下小学校)</p>
② 13:35 14:05	<p>絵画における色彩とマッチェール</p> <p>矢内美裕(福島大学大学院人間発達文化研究科)</p>	<p>他者と共創する「想像の訪問者のための鑑賞ルート」 —日本・チェコの共同企画による美術館ワークショップの検証</p> <p>冢崎萌(鳴門教育大学)/ 松尾大介(上越教育大学)/ 茂木和佳子(兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科)</p>	<p>APTN(図画工作科・ポートフォリオ・タブレット・ノートブック)による資質・能力育成の可能性 II(めあての立て方に焦点をあてて)</p> <p>波多野達二(佛教大学)</p>	<p>イタリアの美術館におけるアクセシビリティの概念に関する研究Ⅰ —非営利団体 L'abilità によるプロジェクト "Museo per tutti" に関するインタビュー調査—</p> <p>手塚千尋(明治学院大学)/ 池田史志(広島大学)/ 大内進(星美学園短期大学日伊総合研究所)/ 茂木一司(跡見学園女子大学)/ 笠原広一(東京学芸大学)</p>	<p>教科教育におけるIT・ICTの導入および活用に係る考察 —デジタルデバイスを用いた2段階の制作実験の分析から—</p> <p>瀧澤悠(埼玉県立所沢北高等学校)</p>
③ 14:10 14:40	<p>社会の問題から発想する図画工作科の授業実践—学びをつなげて解決策を提案する題材の事例研究—</p> <p>山田唯仁(兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科)/ 山本政幸(岐阜大学)</p>	<p>「造形遊び」における子どもたちの<概念>の生成—幼児を対象とした「造形遊び」の事例より—</p> <p>村田透(滋賀大学)</p>	<p>ホスピタルアートとデザインの在り方</p> <p>伊藤朱音(福島大学大学院人間発達文化研究科)</p>	<p>問題発見力を育成するためのデザイン教材の開発</p> <p>川原崎知洋(静岡大学)</p>	<p>SDGs・アクリル系絵具使用後の廃棄方法</p> <p>横江昌人(小松市立高校)</p>

○情報交換会 14:50~15:50
北4号館415講義室前ピロティ

○シンポジウム 16:00~17:30
北4号館415講義室

[第2日目 9月24日(日)]

○口頭発表Ⅱ 9:30~11:45

	発表室 A (1F 411 講義室)	発表室 B (1F 412 講義室)	発表室 C (1F 413 講義室)	発表室 D (2F 421 講義室)	発表室 E (2F 422 講義室)
9:30	小学校図画工作科におけるタブレット端末を使ったポスター制作に向けて ④ 岡本愛理(岐阜大学大学院教育学研究科)/山本政幸(岐阜大学)	児童のプログラミング教育における自己調整学習を促す造形活動の学習主題についての一考察 —小型ロボット“BOLT”を用いた小学校高学年の事例分析を通して—		生命形態とSTEAM教育—身体/空間認識によるArtの源流から— 渡邊晃一(福島大学)	小学校と美術館の連携における課題 —池田記念美術館「八色の森の美術展」の実践事例からみえる一考察— 阿部郁美(上越教育大学大学院)
10:00		橋本忠和(北海道教育大学)			
10:05	中学校美術科における主体的な学びに関する一考察—授業実践を通して生まれた生徒の変化と教師の気づき— ⑤ 横尾夏奈子(上越市立安塚中学校)	Reggio Emilia Approachを融合した造形活動とアトリエ空間の試行 松久公嗣(福岡教育大学)		飾る活動を含めることによる鑑賞教育の視野の広がり—中学校美術科題材「なぜか なぜなら ここが良い」の実践から— 南真生(岐阜大学大学院教育学研究科)/山田唯仁(兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科)	教員養成系大学における“感覚をひろく”ことを目的とした芸術系カリキュラムの試案—大学間交流による展覧会プロジェクトを通して— 根本淳子(明治学院大学)/手塚千尋(明治学院大学)/岩永啓司(北海道教育大学旭川校)/吉川暢子(香川大学)
10:35					
10:40	社会の変化と図画工作科の資質・能力獲得の相関—ICT機器を用いた事例から— ⑥ 守屋建(東京学芸大学附属小金井小学校)	タンザニアの子どもの描画特徴における一考察 株田昌彦(宇都宮大学)		図画工作科の授業における教師のパフォーマンスに着目した評価方法の構築に関する研究Ⅱ —教師のパフォーマンスと子どもの視線行動との関連の考察— 大西洋史(関西国際大学)	教員養成課程における「型取り」の制作過程を重視した彫刻題材の検討 羽田顕佑(聖ヶ丘保育専門学校)/松尾大介(上越教育大学)/岩永啓司(北海道教育大学)
11:10					
11:15	多民族社会の美術教育における社会的創造性 ⑦ 佐々木幸(北海道教育大学)	創造性の育成を目指した美術教育の実践の検証方法に関する一考察 清田哲男(岡山大学)/妹尾佑介(岡山県立玉島高等学校)/木村仁(滋賀大学教育学部附属小学校)/武田聡一郎(岡山大学教育学部附属中学校)/松浦藍(岡山大学)		造形ワークショップにおける「協働」的な学びの姿—参加者同士の〈対話〉に着目して— 小川果歩(富山市ガラス美術館)	教師教育における「芸術知」の方法論的解明—強調と省略を教育内容とするWS実践の「考えて組み立てる」みとりから— 高橋文子(東京未来大学)
11:45					

○ポスター発表 12:50~13:50
北3号館313教室

○口頭発表Ⅲ 13:50~14:55

	発表室 A (1F 411 講義室)	発表室 B (1F 412 講義室)	発表室 C (1F 413 講義室)	発表室 D (2F 421 講義室)	発表室 E (2F 422 講義室)
13:50	環境教育と連携する美術教育のあり方について—国連子ども環境ポスター原画コンテストの応募作を用いた試み— ⑧ 鷹木朗(京都芸術大学 芸術教育資格支援センター)	現代美術社発行『美術・その精神と表現』の分析—昭和56年度検定済高等学校芸術科美術教科書の比較分析を通して— 池田育美(広島大学大学院人間社会科学部研究科)	旧平米小学校卒業記念画にみる大正期尋常科児童臨画作品 蜂谷昌之(広島大学)	『中央公論』における「自由画論争」の考察 菊地虹(立教大学大学院)	発想・構想(ひらめき)が生まれる瞬間とは—「児童の姿を見取る」小学校図画工作科の授業実践を通して— 吉岡田裕美(広島大学大学院人間社会科学部研究科)
14:20					
14:25	写生時における表現者の視線の動きについての研究 ⑨ 笠原萌(岡山大学大学院教育学研究科)	アニメーション表現に於ける音響制作を題材とした授業実践 江藤亮(大阪教育大学)	彫刻家佐藤忠良の教育—戦後の彫刻家育成の目的とその基礎— 齋藤亜紀(茗溪学園中学校高等学校)	美術を活用した探究学習の事例と応用 山岡佳代(芝浦工業大学附属中学高等学校)	美術科教科書1956~2021年度2学年ないし2・3学年④「見て表す」題材頁における掲載作品の検討 山口喜雄(元宇都宮大学)
14:55					

○総会 15:10~15:55
北4号館411教室

ポスター発表一覧

No	発表題目	発表者
1	描画と文字を組み合わせた探究活動による<読む力>の深まり —マルチモダリティ理論を基盤として—	岩坂 泰子 (同志社女子大学)
2	墨流しを用いた作品制作の一考察	川里 智子 (近畿大学九州短期大学)
3	Maker movement の教育概念を取り入れたものづくり教育の実践	和田 幹 (広島大学大学院人間社会科学科博士課程前期)
4	デザイン教育における発想法に関する一考察 —プロダクトデザイン領域のコンペティション応募の取り組みから見た、クリエイティブな思考の養成について—	堀場 絵史 (玉川大学) 小北 麻記子 (玉川大学)
5	5 歳児を対象としたプログラミング活動 —造形活動と関連させた保育の展開—	中村 光絵 (和洋女子大学) 北沢 昌代 (聖徳大学短期大学部)
6	見えない人と見える人が創作する場を共有することについて	樋口 健介 (奈良教育大学)
7	描画表現の教育活用に関する実践報告	谷川 潤 (東京学芸大学連合学校教育学研究科 芸術系教育講座)

◇研究発表について (香川大会 第二次案内より)

口頭発表

- ◆ 開始時
各会場の司会者が発表者名(所属)と発表題目を紹介します。
- ◆ 発表時間
発表時間 20 分、質疑応答 10 分です。
開始 15 分で一回(一鈴)、20 分で二回(二鈴)、それぞれ鈴を鳴らします。二鈴の後は、速やかに発表をやめてください。
- ◆ パソコン、接続線について
発表用のパソコンは、各自で持参下さい。会場のプロジェクターには、VGA (RGB) ケーブルがついています。また HDMI 変換アダプターと HDMI ケーブルもあります。必要に応じてアダプターを各自で持参ください。
- ◆ 配付資料
【重要(変更点)！】
大会当日「研究発表概要集(冊子)」の配布を行いません。ただし大会期間中は、香川大会 HP に「研究発表概要集(pdf 版)」を掲載します。
口頭発表の配布資料がある場合には、50～70 部程度ご用意いただき、直前に会場入口前の机の上に置いてください。
大会終了後(11 月頃)、全会員に「研究発表概要集・香川大会記録集(冊子)」を郵送します。

ポスター発表

- ◆ 発表条件
当日参加が条件です。ポスターは発表者自身で作成・印刷し、会場で掲示してください。
- ◆ ポスターの掲示
ポスターは発表者ご自身でお持ちいただき、大会第 1 日(9 月 23 日) 10:00 から大会 2 日目(9 月 24 日) 12:00 までの間に、発表者ご自身で掲示して下さい。ピン等、貼付用具は香川大会運営事務局で準備します。掲示のパネル位置については事務局で決定し、発表者に連絡します。パネル位置等へのご希望は受け付けません。
- ◆ 発表時間
大会 2 日目(9 月 24 日)のポスター発表の時間帯(12:50～13:50)には会場で発表ならびに質疑応答をお願いします。司会はありません。
- ◆ ポスター作成上の注意
(1) A1 判(594mm×841mm)縦長、2 枚まで。
(2) ポスターには、①氏名(所属) ②研究テーマ ③研究の概要を必ず入れてください。
(3) 用紙に写真を貼ったり、プリントアウトした図表を貼ったりするなどして自作しても結構ですが、立体物の貼り付けは不可とします。
- ◆ 発表終了後のポスターについて
発表時間終了後のポスターは第 2 日(24 日)の 15:00 までに発表者ご自身で撤去をお願いします。
16:00 以降、残されているポスターは処分いたします。

令和 5 (2023) 年度 日本教育大学協会 全国美術部門 協議会
第 62 回大学美術教育学会 香川大会 [大会案内 研究発表概要集]

発行日：令和 5 (2023) 年 9 月 23 日

発行者：日本教育大学協会全国美術部門代表・大学美術教育学会理事長 新関 伸也 (東海大学)

■日本教育大学協会全国美術部門・大学美術教育学会 香川大会 運営事務局

- ・大会運営委員長：古草 敦史 (香川大学)
- ・大会運営事務局：吉川 暢子 (大会運営委員：香川大学)
- ・編集協力：部門・学会総務局

印刷・発行：中西印刷株式会社

〒 602-8048 京都府京都市上京区下立売通小川東入西大路町 146 番地

TEL：075-415-3661 / FAX：075-415-3662